

令和 4 年度 事業報告

1 自転車の安全利用に関すること

(1) 安全・安心な自転車利用促進事業

① 各種イベントでの啓発

- ・おおつエコフェスタ 2022 → 令和 4 年 7 月 31 日
- ・令和 4 年滋賀県交通安全フェア → 令和 4 年 10 月 15 日

② 自転車教室の開催

- ・希望ヶ丘文化公園でのキックバイクを用いた自転車教室 → 令和 4 年 10 月 22 日

(2) 安全利用WGの開催

令和 5 年 3 月に 1 度開催（書面開催）

- ① 令和 4 年中の交通事故情勢について
- ② 令和 4 年度自転車安全対策事業実施状況調べについて
- ③ 令和 5 年度自転車安全対策事業予定調べについて

(3) 啓発リーフレットの作成

白鬚神社におけるサイクリスト等観光客に対するマナー啓発用のチラシを作成し、地元観光施設やレンタサイクルショップに配架し、安全啓発を行った。

2 自転車ツーリズムに関すること

(1) サイクルツーリズム推進事業

① 「ビワイチの日」制定記念事業

ビワイチ推進条例の制定を契機として、県内外にビワイチ推進に係る取組を広く発信した。

日時：2022 年 11 月 3 日～11 月 9 日

内容：記念ライド（大津－守山、草津－守山）

記念式典（びわ湖大津プリンスホテル）

エイドステーションの設置（守山、彦根、長浜、高島）

② ビワイチイメージアップ推進事業

「ビワイチ・プラス」の多様な魅力を SNS 等で発信し、女性や家族連れの誘客を図った。

撮影場所：長浜－高島

時期：2022 年 10 月 3 日 動画公開

成果物：「琵琶湖サイクリングはここに行け！なおすすめコース【ビワイチ】」

③ビワイチ商品開発支援事業

ビワイチのロゴやビワイチの名称を使ったビワイチ商品をイベントや会議などで活用することで、ビワイチを広く PR した。

④サイクリングガイドツアー振興支援事業

サイクリングガイドと連携し、ビワイチの各種イベントにおいて、ガイドツアーを実施することで、サイクリングガイドツアーの魅力発信につなげることができた。

実施時期：11月

⑤全国イベント等と連携したビワイチ魅力発信事業

日本最大の自転車フェス「サイクルモード」等への出展や、ナショナルサイクルルート指定地域や国土交通省自転車活用推進本部などと連携した情報発信等を行うことで、「ビワイチ」、「ビワイチ・プラス」の誘客促進、ブランドイメージ向上を図った。

- ・台北サイクルショー2023（台北、3月）
- ・サイクルモードライドへの出展（大阪、3月）
- ・フェリエンメッセ（ウィーン、3月）

⑥サイクリストにやさしい宿の利用環境促進事業

サイクリストが安心して宿泊できる施設「サイクリストにやさしい宿」の利用促進を目的とした研修会や広報PRを実施した。

- ・研修会：1月23日（月）（高島会場）
1月26日（木）（草津会場）
- ・情報発信業務：雑誌『バイシクルクラブ（5月号）』への紙面掲載
- ・利用環境促進のための補助金支援
補助金：13事業者 1,419,000円

⑦サイクリスト向け安全啓発リーフレット配布・周知

サイクリングへの関心が高まっていることから、マナー啓発を目的としたリーフレットを作成することで、安全啓発を徹底した。

内容：「サイクリーマン」とコラボした安全啓発リーフレット
部数：5,000部

⑧ビワイチサイクリングナビアプリの活用推進

「ビワイチサイクリングナビ」アプリを活用し、「ビワイチ」をはじめ、県内における自転車周遊を促進させ、誘客強化を図った。（累計DL数：R4 55,480）

実施内容：

1. OS更新に伴うアプリ検証・修正、サーバー運用

2. 配信管理、アプリ利用状況集計、アプリ不具合対応
3. ビーコン点検、エコカウンターバッテリー交換等

⑨アプリを活用したデータの解析

琵琶湖一周サイクリング体験者数（推計値）を測定するなどにより、自治体や民間事業者によるマーケティングの基盤整備を行った。

⑩サイクルサポートステーション研修会

サイクリング利用者の満足度を向上させるとともに、事業者への「稼ぎ」へとつなぐため、新たな研修会用の教材を作成・活用しながら、サイクリストへのおもてなしや更なるサービス向上のため実例紹介等を行う研修会を、様々な情報の提供を行うサイクルサポートステーション向けに開催した。また、出席できなかった事業者を対象に、計7回補講を実施した。

開催時期：1月23日（月）（高島会場）

1月26日（木）（草津会場）

参加人数：127名

⑪サイクリングマイレージ推進事業

サイクリングによる走行距離に応じてポイントを取得できる新機能をアプリに追加し、家族や女性グループなどの利用者層の拡大を図るとともに、アプリ利用者の性別や年齢、走行ルートなどのデータを収集することを目的にサイクリングマイレージの機能の供与を開始した。

開始時期：10月24日（月）

⑫青少年グループ等のビワイチ挑戦サポート事業

青少年グループがビワイチに挑戦しやすい環境を整備するため、サイクリングルート上の注意箇所や立ち寄り箇所等の情報を示したウェブサイトを作成した。

作成時期：3月

⑬ビワイチ・プラス等デジタルスタンプラリー

地域に根差した新たなサイクリングイベントを確立させ、「ビワイチ・プラス」の推進につなげることを目的として、アプリを活用したスタンプラリーを開催した。

開催時期：

令和4年10月1日（土）から11月27日（日）米原市

令和4年10月8日（土）から11月6日（日）東近江市

令和5年1月5日（木）から2月4日（土）守山市

令和5年2月22日（水）から3月28日（火）栗東市

⑭サイクリング体験・安全教室

新たなサイクリング人口の創出に向けて、女性・子ども連れなどがサイクリングを始めるきっかけになるよう、スポーツサイクルの乗り方講習などの体験イベントを開催した。

開催時期：5月22日（日）、10月22日（土）

開催場所：滋賀県希望が丘文化公園

⑮「推進体制」の整備

サイクリストのニーズと事業者が持つシーズのマッチング、各施設でのサービス向上に向けたコンサルティング、アプリ広告枠等の営業活動等の実施に向け、官民連携の強化による事務局体制の充実化を図った。

(2) ツーリズムWGの開催

第1回 令和4年5月17日

- ・「ビワイチの日」の取組みについて
- ・ビワイチサイクリングナビを用いたイベント、情報収集について

第2回 令和4年7月6日、7日

- ・「ビワイチの日」の取組みについて
- ・ビワイチサイクリングナビを用いたマイレージ事業について

第3回 令和5年1月17日

- ・ビワイチの日の結果について
- ・サイクルモードの出展について

3 情報発信に関すること

(1) 滋賀プラス・サイクル推進協議会ホームページでの情報発信

年間アクセス件数：50,008件

【発信内容】

- ・自転車交通ルール
- ・サイクリングマップ
- ・滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する情報
- ・自転車店、レンタサイクル、駐輪場等の自転車の日常利用に資する情報
- ・サイクルツーリズムに関する情報
- ・自転車通勤の推進に係る情報
- ・自転車事故をはじめ自転車の安全啓発に関する情報
- ・その他自転車の利用促進のため必要な情報

(2) エコ通勤の普及促進

滋賀プラス・サイクル推進協議会ホームページにて、事業者向けおよび実践者向けに分
け、自転車通勤を始めるにあたっての役立ち情報を発信した。

(3) サイクルツーリズムに関する情報発信

サイクルツーリズムシンポジウム 2022「市民の協力で地域を盛り上げるサイクルツーリ
ズムをつくるには？」 → 令和4年9月11日

●《基調講演》「見えてきた、サイクルツーリズムの本質～まちづくりサイクリングガイド の重要性～」

小口 良平さん (自転車冒険家、自転車旅行研究科、諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進
協議会代表、長野県サイクルツーリズム推進協議会副代表)

●《話題提供》「建物からエリアへ。エリアから概念へ。自転車がリレーションするまちづ くり」

赤羽 孝太さん (一般社団法人〇と編集社代表理事)

●「滋賀県の事例」

新野 恭平さん (JGGA 公認サイクリングガイドリーダー)

中井 友紀乃さん

福富 雅之さん (和ウトドア)

角田 祐一さん (近江鉄道・ガチャR I D E チーム)

畠山 重仁さん (")

福田 北斗さん (")

乾 文久さん (ライダーハウス日本何周)

大西 喜代利さん (一般社団法人滋賀県自転車協議連盟)

宮川 美紀子さん (びわ湖守山・自転車新文化推進協議会)

山本 一男さん (びわポタサイクリング)

稲永 明子さん (輪の国びわ湖推進協議会、歴史街道推進協議会)

●ディスカッション「滋賀をさらに盛り上げていくために何をするべきか」

パネリスト 小口 良平さん、赤羽 孝太さん、一丸 剛さん、乾 文久さん

コーディネーター 佐々木 和之さん (輪の国びわ湖推進協議会事務局長)

■事業の成果

- ・サイクルツーリズムから始まるまちづくりについて、長野県での取組を事例に紹介し
ていただいた。
- ・滋賀県内で活動されている方々がゆるやかに連携することで、それぞれが抱える問題
の解決にも繋がることから、今後も横の繋がりを大切にしながら活動を進めていくこ
とが大切であることを確認した。

(4) 情報発信WG

令和5年2月20日

- ① Webサイトの現状報告を行った。
- ② 今後の情報発信手法等について、Webサイトの現状を踏まえつつ、WGメンバーで議論を行った。

4 環境整備に関すること

(1) 第2次滋賀県版自転車活用推進計画の策定（自転車活用推進計画WG）

- ① 第1回 令和4年10月6日（水）：推進計画素案について

【概要】

- ・「ビワイチ」の印象が強すぎて、「自転車好きのための計画」と誤解されやすい。推進計画の趣旨は、日常利用、観光双方の目的を混合しないようにすることが重要。
- ・日常利用・内陸部の観光目的の自転車ネットワーク計画の策定を、地域の実情を踏まえて市町が策定するのが望ましいとされている。滋賀県全体の自転車走行空間整備を計画的に推進するため、県が市町に対し、自転車活用推進計画（自転車ネットワークを含む）の策定を支援していく必要がある。

- ② 第2回 令和5年1月6日（水）：パブコメ結果を踏まえた計画案について

【概要】

- ・パブコメを実施してみて、「ビワイチ」の言葉の定義（※）が一般に浸透していない。
- ・県が定義付けた「ビワイチ」という言葉をいかに周知させていくかが今後の課題。
- ・第2次計画のフォローアップは年に1回、年明けごろ、自転車活用推進計画WGにて実施する。

※「ビワイチ」の定義

琵琶湖を一周すること、または琵琶湖その他県内の観光地、景勝地等を周遊することのうち、自転車を利用して行うもの。

(2) 公共交通機関との連携による自転車ツーリズムの広域展開

- ・タクシーと連携したレスキュー体制について、事業者へのヒアリングを実施し、今後の施策実施に向けて協議した。
- ・湖上交通を活用したショートカットビワイチやサイクルトレインについて、滋賀プラス・サイクル推進協議会ホームページなどを活用して広報を実施した。